

木馬会会報 (第35号)

* 毎日王冠・京都大賞典特集 *

～木馬達の予想～

本誌 TP

神戸新聞杯で久々の万馬券を的中し、過去最高倍率(217倍)を記録するとともに生涯2度目の10万円コース(217×500円)となり、幸先良く秋のスタートを切れました。私はほんとにジェニユインとタヤスツヨシに相性がよく、2頭が出た皐月賞、ダービーでは賭金19,000円に対し、払戻が46,640円。いずれか1頭が出た共同通信杯、京王杯AH、神戸新聞杯では、賭金20,500円に対し、払戻が12,690円。しめて13,4040円稼がせてもらっています。ジェニユインはヤエノムテキに似た感じで、騎手の腕で決まるようなレース展開ならば天皇賞も有力でしょう。2着でしょうが。タヤスツヨシは緒戦から全能力を出るといって馬ではなく、取りこぼしも考えられたので今回の的中になったわけだが、馬体の成長もあり、菊科賞はまず勝てると思います。さて、インペラトールの走りをじっくり見せてもらいましたが、大物の走りではないようです。脚が突っ張った感じで小股、華奢な感じがします。馬体の成長がなければ、今後厳しいような気がします。もちろん頑張っ

毎日王冠

◎…ジェニユイン ○…サクラチトセオー ▲…ドージマムテキ

△…ホクトベガ、マイシンザン、イナズマタカオー、カネツクロス

～予想者の屁理屈～

最近私は、レースの質を読み、それから馬券検討をするのだが、このレースのポイント、逃げ馬不在と、マイシンザンの出走である。マイシンザンはとても好きな馬だが、常に期待に込めるといって馬ではなく、今回は引っ掛かってレースを目茶苦茶にするだろうと読む。そんな周りの状況に左右されずに冷静な手綱捌きができるのが岡部様。このレースは騎手の腕で決まるというのが私の見解。しかもジェニユインの1週前追いきりのスムーズさ、フォトパドックの素晴らしさを目の当たりにしたら人気でも逆らえまい。本当は天皇賞で狙いたかったのだが。開幕週、多分Mペース、こうなりや前にいく馬が有利。チトオーは乗りかたが難しいだろう。ジェニユイン、2着は外すまい。私やあ、ジェニユインと相性がいいのだ。今回も頂きた。

京都大賞典

◎…ヒシアマゾン

△…アイルトンシンボリ、ステージチャンプ、マーベラスクラウン

～予想者の屁理屈～

女帝ヒシアマゾンは裏切らない。前走の並んでからのしぶとさを見て完全復調を感じた。直前の追いきりで絶対と思ったものだ。JCで文句なく本命に推そうと思っているアマゾン様がこんなところで負けてはいけないのだ。数々の牝馬の記録を塗り変えてきた女帝に不可能はない。今ブライアンを負かせるただ1頭の馬なのである。オールカマーを快勝してきたこと、距離、馬場、何の不安もない。不動の軸馬である。

ヒシアマゾンは絶対なのでいつも大金を賭けるのだが、固く収まるので大幅に得したことはない。アマゾンは離して勝たずに接戦にするので実力のない馬はこない。それが固い

理由である。よって相手も自然に絞られる。上記3頭だが、Mクラウンはまだまだ太い。500円あったら消してもいいだろう。叩き良化型ステチャンは京都得意なので押さえる。アイルトンとの1点勝負もおつなもんだ。ちなみにレガシーはまだいない。暮れの有馬か、AJCで穴を開けるだろう。

1度の惨敗で色気を捨て、最近凄味を増したヒシアマゾン様。“ちゃん”付けではもう失礼。ヒシアマゾン様！僕を蹴ってえ、噛んでえ、踏んづけてええ…あああつ、いっ現在の回収率87.7%

予走者 四国の井崎

インペラトール

インペラトールは残念でした。前走の時計が優秀であり、調教も良く、騎手が上村から松永幹に乗り替わり、枠順も包まれない7枠だったので着は外さないと思ったのですがねえ。木馬会にプレゼントしようと思い、いつもは日曜日しか行かないWINS高松に土曜日に出向いて、インペラトールの単複千円と馬連総流し百円と第一本線⑤-⑩千円を買い、自分用にも単複他購入し、レース直前にも単複主体で電話投票で入れたのですが、2人気が先行したものの直線伸びずに7着と敗れてしまいました。パドックは+4kgでよく見たのですが、難を言わせてもらえれば馬が堅い印象を受けました。小柄な馬なのでもう少し弾力のある馬体になって欲しいものです。時計分析をしてみますと、この日の1200mの500万水準タイムは1.10.0です。これより-0.3秒ですから(前回は+0.1秒)、力は出していると思います。1、2着のノースサンデー、タヤススリリング(+0.3秒)が強かったということです。今後、どれだけ力をつけるかにかかってきます。500万クラスはいずれ卒業できると思います。

なお、今回もグリーンチャンネルのビデオを取っていますので、記念の外れ馬券とともに幹事様へお送りいたします。今回はパドックも入れていますのでお楽しみ下さい。

京都 '95年6月7日 9月30日	9月30日
9レース	9月30日
複勝式	複勝式
PLACE-SHOW	PLACE-SHOW
WIN	WIN
WINS 高松	WINS 高松
4600017286	4600017341
4829 00658	4829 00523
159408	159410
***1,000円	***1,000円
***100枚	***100枚

京都 '95年6月7日 9月30日	9月30日
9レース	9月30日
複勝式	複勝式
PLACE-SHOW	PLACE-SHOW
WIN	WIN
WINS 高松	WINS 高松
4600017341	4600017341
4829 00523	4829 00523
159410	159410
***1,000円	***1,000円
***100枚	***100枚

京都 '95年6月7日 9月30日	9月30日
9レース	9月30日
複勝式	複勝式
PLACE-SHOW	PLACE-SHOW
WIN	WIN
WINS 高松	WINS 高松
4600017183	4600017183
06763	06763
159406	159406
***1,000円	***1,000円
***100枚	***100枚

京都 '95年6月7日 9月30日	9月30日
9レース	9月30日
複勝式	複勝式
PLACE-SHOW	PLACE-SHOW
WIN	WIN
WINS 高松	WINS 高松
4600017250	4600017250
09413	09413
159407	159407
***1,000円	***1,000円
***100枚	***100枚

京都 '95年6月7日 9月30日	9月30日
9レース	9月30日
複勝式	複勝式
PLACE-SHOW	PLACE-SHOW
WIN	WIN
WINS 高松	WINS 高松
4600017432	4600017432
4829 00715	4829 00715
159411	159411
***1,000円	***1,000円
***100枚	***100枚

京都 '95年6月7日 9月30日	9月30日
9レース	9月30日
複勝式	複勝式
PLACE-SHOW	PLACE-SHOW
WIN	WIN
WINS 高松	WINS 高松
4600017316	4600017316
4829 05314	4829 05314
159409	159409
***1,000円	***1,000円
***100枚	***100枚

京都 '95年6月7日 9月30日	9月30日
9レース	9月30日
複勝式	複勝式
PLACE-SHOW	PLACE-SHOW
WIN	WIN
WINS 高松	WINS 高松
4600017060	4600017060
08577	08577
159404	159404
***1,000円	***1,000円
***100枚	***100枚

京都 '95年6月7日 9月30日	9月30日
9レース	9月30日
複勝式	複勝式
PLACE-SHOW	PLACE-SHOW
WIN	WIN
WINS 高松	WINS 高松
4600017031	4600017031
04982	04982
159403	159403
***1,000円	***1,000円
***100枚	***100枚

毎日王冠

秋の重賞戦線は枠連の代用品にも助けられてすべての的中しており好調です。今回は距離の長い京都記念はタイムベースの予想は無理で、1800mでスピード競馬になる毎日王冠が絶好の狙い目になります。過去3走で500万クラスの標準タイムよりも3秒以上早いタイムを記録しているのがA、B、Cの3頭。それ以外の3頭は2.5秒をクリアしています。特にマイシンザンは3走すべてが3.5秒以上をクリアしており狙い目十分。自信の本命です。馬券はAからの流しとB-Cの押さえ。

今年の牡馬5才はブライアン以外は弱く、6才馬が強い。

A マイシンザン B エーブアゲイン C サクラチトセオー

- ・ ゴーゴーゼット (おそらく京都大賞典出走だが、こっちに出たほうがおもしろい)
- ・ ジェニュイン ・ ドージマムテキ

京都大賞典

◎ヒシアマゾン ○ステージチャンプ

▲アイルトンシンボリ △ゴーゴーゼット △ナイスネイチャ △ヤマニンバイタル
マーベラスクラウンは毎日王冠のサイン馬ではないか。去年は3枠に入ってサイン馬になっていない(1-6)ので、今年は同馬の枠順、馬番に注意したい。そしてサイン馬になるための条件は連対しないこと(去年は勝っている)であるので、今回はバツサリ消す。

牡馬5才は弱いヒシアマゾンは強い。メンバーは強いがブライアン以外には負けないだろう。京都が減法強いステージチャンプもよさそう。ジャパンカップ馬の2頭の騙馬は消す。

あっという間に秋競馬本番です。皆さん夏の間はいかがお過ごしでしたでしょうか。放牧に出されて休養をとった方、夏場もきついローテーションで使われた方、いろいろだと思いますが、これから頑張っていきましょう。ブライアン復活するか、4歳馬夏の新興勢力の実力は？地方馬の活躍は？ヒシアマゾン VS ナリタブライアン第二章、インペラトールの後、競馬の鉄人の行方は？等盛沢山です。

さて次回は天皇賞・秋号です。それから9週続きます。皆さん頑張って寄稿をお願いいたします。

予想者 へな

毎日王冠

◎…ジェニュイン ○…ヒシワールド ▲…トロットサンダー
△…サクラチトセオー △…マイシンザン

…予想者の屁理屈…

久々なのでしっかり原稿を書こうと思ったのですが、時間がなく、こんなに少しくなってしまうして、大変申し訳ありません。天皇賞で頑張ります。

開幕週のため時計の早くなるこのレース。今年はオーバーシートにしたため、どのようになるのかちょっと見当がつかないが、やはり先行有利の時計勝負になるのだろう。今の状態ならジェニュインで間違いない。さすが松山だとつくづく思う。相手に面白いのは“へな”がデビュー前から大物と見込み、応援しているヒシワールドと、東京ならフルに実力が発揮できるトロットサンダー。末切れる2頭はおさえまで。チトセオーはやや調整不足のようだが、本番の天皇賞では間違いなく勝てる。断言しよう。

京都大賞典

◎…アイルトンシンボリ ○…ヒシアマゾン ▲…ナイスネイチャ
△…ステージチャンプ

ヒシアマゾンには逆らえない。それでも同じ57キロなら実力馬のアイルトンシンボリに一票を投じてみたくなる。単勝でも買ってみるか。歳だけど非常に元気なナイスネイチャとこの秋、大仕事をしそうなステージチャンプでいけるだろう。

今週からいよいよ東京が開幕する。クラシックの主役になるような若駒たちが例年デビューするだけに今年も注目度120%だろう。(でも今年はいつより評判馬が少ないのがちょっと寂しいのだが。)

その中で“へな”が気になる馬を一頭紹介すると、初日にデビューする予定のサクラスピードオーである。別にとびぬけて能力が高そうとかいうわけではないのだが(結構高いことは間違いなさそう)、私の大好きだったサクラホクトオーの初産駒の一頭で、父の名を一番高められそうだということで今開催の中では一番注目しているのであります。どうぞよろしく。